

## 令和5年度部活動地域移行モデル事業の総括について

### 1 【パターンI】 指導者派遣型

#### (1) 大学生指導者の派遣

##### ○応募及び活動実績

| 募集大学       | 派遣校・部活動・人数      | 延べ活動日数 | 活動時間  |
|------------|-----------------|--------|-------|
| IPU・環太平洋大学 | ○瀬戸中（4部活動・14人）  | 99日    | 287時間 |
| 岡山大学       | ○岡北中（9部活動・35人）  | 346日   | 984時間 |
|            | ○京山中（12部活動・39人） | 161日   | 460時間 |

##### ○成果と課題

| 成果  | 課題  |
|---|---|
| ☆大学との連携<br>☆顧問と大学生の連絡方法を確立<br>☆生徒及び顧問からの高い満足度 | △活動日数・活動時間<br>△教員の事務的な負担軽減<br>△派遣指導者のいない種目の人材確保 |

##### ○令和6年度に向けて

- ・派遣開始を5月（継続指導者は4月）に早め、派遣時間を確保する。
- ・インターネット経由の実績報告に改め、教員の事務負担を軽減する。

#### (2) 部活動指導員の集中配置【教育委員会】

##### ○活動実績

| 学校  | 配置部活動           | 活動時間  | 負担軽減率(※1) |
|-----|-----------------|-------|-----------|
| 灘崎中 | 野球、剣道、卓球、バレーボール | 496時間 | 15.5%     |

※1 負担軽減率（指導員配置により顧問が指導から外れた時間の割合）

##### ○成果と課題

| 成果  | 課題                                   |
|---|--------------------------------------|
| ☆地元の地域人材の活用<br>☆専門的な指導による部活動の充実<br>☆教員の負担軽減 | △未配置の部活動への人材確保<br>△学校の希望と指導者候補のマッチング |

##### ○令和6年度に向けて

- ・指導員に活動を任せることができる体制に徐々に移行する。
- ・企業や競技団体等と連携した人材確保を図る。

## 2 【パターンⅡ】 合同活動型

### ○活動実績

| 学校                    | 部活動       | 指導団体    | 派遣回数 |
|-----------------------|-----------|---------|------|
| 操山中・光南台中              | 男子バレーボール部 | 岡山シーガルズ | 1回   |
| 操山中・高島中<br>・建部中・岡山中央中 |           |         | 1回   |

### ○成果と課題

| 成果                               | 課題                           |
|----------------------------------|------------------------------|
| ☆専門的な指導による部活動の充実<br>☆教員の心理的な負担軽減 | △日常的、継続的な派遣調整<br>△指導者等への費用負担 |

### ○令和6年度に向けて

- ・拠点校方式(※2)の部活動を実施する。

※2 所属する学校に希望する部活動がない場合に拠点校の部活動へ参加できる仕組み

## 3 【パターンⅢ】 多様な体験・活動型

### ○活動実績

| 種目       | 指導団体     | 参加中学生 |
|----------|----------|-------|
| 卓球       | 岡山リベッツ   | 約60名  |
| バスケットボール | トライフープ岡山 | 約40名  |
| バレーボール   | 岡山シーガルズ  | 約60名  |
| サッカー     | 岡山ファジアーノ | 約50名  |

### ○成果と課題

| 成果                               | 課題                           |
|----------------------------------|------------------------------|
| ☆専門的な指導による部活動の充実<br>☆教員の心理的な負担軽減 | △日常的、継続的な派遣調整<br>△指導者等への費用負担 |

### ○令和6年度に向けて

- ・アンケート結果を踏まえた実施種目等を検討する。
- ・連携する団体との日程調整等の協議を早期に開始する。

## 4 岡山市部活動地域移行アンケートの実施【教育委員会】

- (1) 実施：令和5年12月
- (2) 対象：児童(小6)、生徒(中1・2)、その保護者、教職員
- (3) 回答率：61.1%(11,452/18,745人)
- (4) 結果：アンケート結果の概要(岡山市HPに公開中)